

# 観光地がぐっと身近に、ぐっと近くに

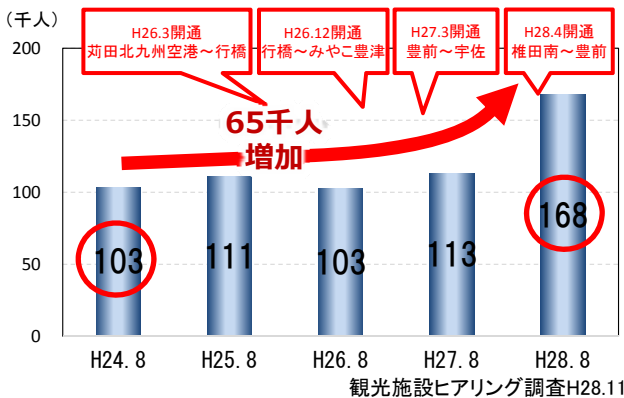
- ▶ 都市間の所要時間が短縮し、名勝観光施設が身近に。  
(北九州市～中津市間 約15分短縮、中津市～大分市間 約5分短縮)
- ▶ 沿線の観光地 中津市 名勝耶馬溪「青の洞門」の入込客数が、約1.6倍に増加。
- ▶ 熊本地震後、高速道路のドライブパス周遊割引などの観光支援により、大分・熊本の観光宿泊者数が回復。

## ■北九州市～大分市間の所要時間の変化



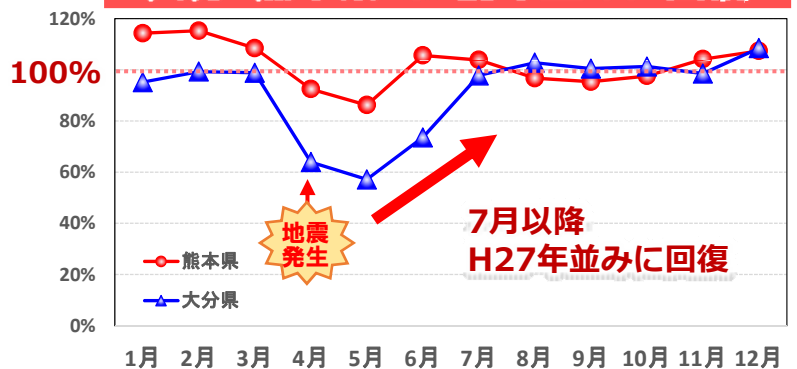
## ■名勝耶馬溪「青の洞門」の入込客数

入込客数は約1.6倍に増加



## ■大分県・熊本県の観光宿泊者数の対前年比(H28/H27)

大分・熊本県ともに前年並みに回復



## ■九州観光を支援するプロジェクトを実施



九州観光周遊ドライブバス2016  
最終申込件数は約23万件を突破

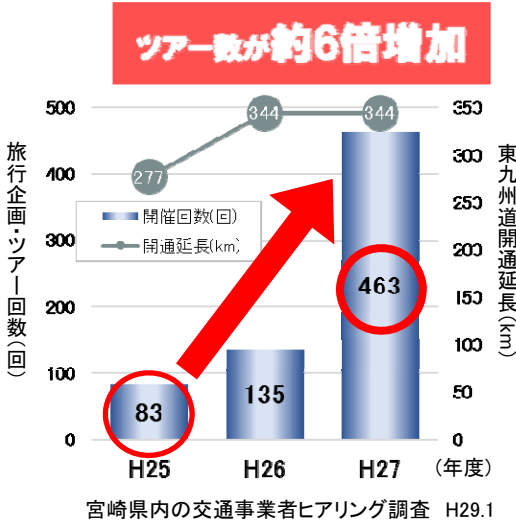
統計観光消費額は約166億円!

※旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究(2016年3月観光庁)による旅行目的の方の平均観光消費額(交通費除く)及び、過去実施ドライブバスのアンケート結果による平均乗車員数を使用し、申し込み23万人が観光目的と仮定して算定。  
観光消費額=申込件数(23万件)×平均乗車人数(2.7人)×平均観光消費額(26,770円/人)

# 魅力発信！インバウンド観光に新たな活路

- 宮崎・大分エリアを中心に東九州道を活用した外国人向けツアー数が約6倍に増加。
- 東九州道の開通が後押しし、北九州空港の新たな国際線が次々に就航。
- 北九州から別府・大分方面へのアクセス性が向上したことで、外国人に人気の大分県別府温泉へ向かうツアールートに北九州が組み込まれた。

## ■東九州道を活用した外国人向けツアー開催数が急増！



## ■新たなインバウンド観光周遊ルートが構築



## ■新たな国際線の就航を東九州道の開通が後押し



ジンエアー(韓国)

天津航空(中国)

### 北九州市(空港企画課)

- ・東九州道の開通以降、北九州から別府・大分方面へのアクセス性の向上により、韓国LCC(ジンエアー)が12月から釜山便とソウル/仁川便を(各1日1往復)就航しています。
- ・中国の天津航空は10/30から中国・大連(大連空港)便を就航(週2往復)しています。
- ・3泊4日～4泊5日の旅程で、別府～湯布院～熊本～福岡～北九州(小倉城、門司港などの周遊観光ルート)が組まれています。

ヒアリング調査 H28



写真:外国人観光客 クルーズ船からの受け入れ状況(日向市細島港)

### 官民連携インバウンドプロジェクト

目的

- ・インバウンド需要の取り込み
- ・東九州道沿線の観光産業の活性化

大分県、宮崎県

- ・周遊先選定
- ・周遊先との折衝

大分銀行  
宮崎銀行

- ・周遊先の選定支援
- ・地場企業等との折衝

カード会社

- ・訪日観光客の受入環境整備
- ・海外カード発行機関との折衝
- ・旅行代理店との折衝

広域観光周遊ルートの開発

### 実施内容(平成28年10月～12月)

台湾人観光客を対象に、高千穂(宮崎県)や湯布院(大分県)など、両県の魅力ある観光スポットを巡るモニターツアーを3回実施

# 食の賑わい拠点が次々誕生

- 東九州道の開通を機に、地元ブランド食材を活かした県域を越えた地域イベントや新たな施設が次々オープン。
- 東九州道（椎田南IC～豊前IC）の開通に合せ「うみてらす豊前」が新規オープン、入客数が10ヶ月で10万人を突破、年間目標6万人を5ヶ月で達成。

## 福岡県豊前市に水産振興施設 「うみてらす豊前」が新規オープン

### 椎田南～豊前ICの開通に合せグランドオープン

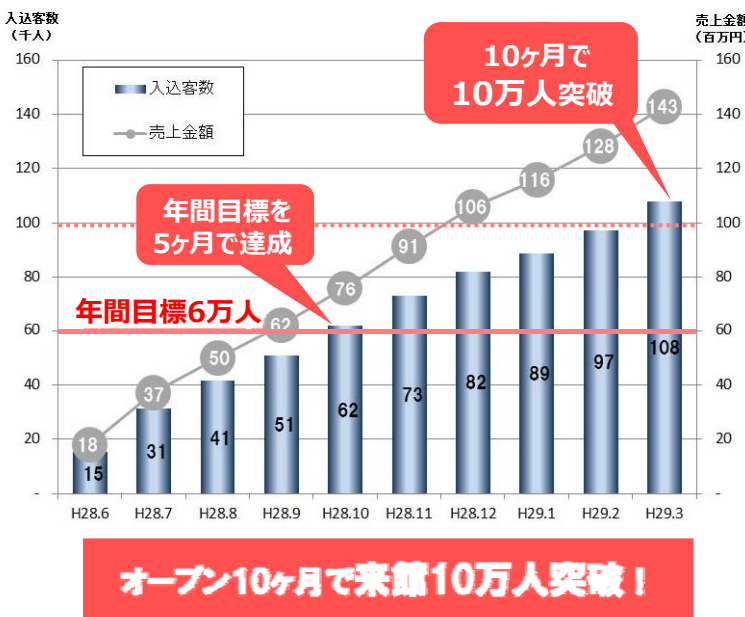


うみてらす豊前



写真:うみてらす豊前 にぎわう豊築漁協直売所

### ○ うみてらす豊前の入込客数と売上の推移



## ブランド食材を活かした地域イベント



## 豊築漁協（うみてらす豊前）

この施設ができて近隣地域だけではなく、福岡都市圏や大分、山口からのお客さまが豊前市を訪れるようになりました。年間6万人の来館を目標にしていたが、既に10万人を突破しました。



ヒアリング調査 H29.3



東九州伊勢えび海道



日豊海岸岩ガキまつり